

県政報告

広島県議会9月定例会は9月19日から10月2日までの14日間の日程で開催され、平成29年度の補正予算、関連する条例が審議されたほか、決算特別委員会の設置などが議決されました。

■平成29年度補正予算（9月補正）

補正予算額 77億36百万円

6月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に適切に対応することを基本として、「災害に強いまちづくり」や「地方創生」に向けた取り組みなどに時機を逃さず対応することとしています。

（1）災害に強いまちづくり

53億80百万円

①早期災害復旧（28億1百万円）

○大雨災害に係る災害復旧（公共事業）

〔補助災害復旧事業〕 27億89百万円

- ・土木施設災害復旧費（道路、河川、砂防施設）
- ・農林水産施設災害復旧費（農地、農業用施設、林道）

〔単独災害復旧事業〕 12百万円

- ・土木施設災害復旧費（道路、河川）

②ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策（25億79百万円）

○防災・減災対策（公共事業）

〔単独公共事業〕

- ・道路事業 10億48百万円（緊急輸送道路、道路環境維持対策等）
- ・河川事業 7億28百万円（河道浚渫、護岸改良等）
- ・砂防事業 4億90百万円（土砂災害防止のための砂防施設の整備等）
- ・港湾事業 2億27百万円（老朽化に伴う栈橋の補修等）
- ・街路事業 50百万円（災害時の避難路の整備）
- ・公園事業 8百万円（老朽化に伴う設備の更新）
- ・治山事業 28百万円（山地災害の未然防止のための治山施設の整備等）

(2) 地方創生

9億52百万円

①新たな経済成長 (20百万円)

○イノベーション人材の確保強化

- ・県内企業がプロフェッショナル人材の受入を進めるための支援を強化

②人づくり (876百万円 [債務1,311百万円])

○社会で活躍する人材の育成

- ・コンピテンシー育成に向けた新しい教育モデルの確立のため、「学びの変革」を先導的に実践する学校の施設整備を実施

③豊かな地域づくり (56百万円)

○中山間地域の地域力強化

- ・三江線廃止に伴い、代替バスを円滑に運行するために必要な環境の整備を実施

(3) 広島県の価値の共鳴・共振

10百万円

①国際平和拠点ひろしまの形成 (10百万円)

○国連軍縮会議の開催支援

- ・核兵器のない平和な国際社会の実現のため、広島市と連携し、国連軍縮会議の開催を支援

(4) その他

13億94百万円

①防災ヘリ運航管理事業 (21百万円)

- ・今年度の防災ヘリコプターの耐空検査において、ヘリコプターの部品が摩耗していることが判明したため、来年度の耐空検査までに必要なエンジン部品を調達

②財政調整基金への積立 (13億73百万円)

- ・地方財政法に基づき、平成28年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ積立

■条例

- 広島県中小企業・小規模企業振興条例の制定【議員提案条例】 (1件)
- 広島県立高等学校等設置条例の一部を改正する条例 等 (9件)

■人事案件

- 広島県教育委員会委員の任命の同意について (1件)

■議案

- 決算認定等について 等 (2件)

■ 180条専決処分報告

○訴えの提起について 等 (3件)

■ 報告事項

○ひろしま未来チャレンジビジョン実施状況報告書 等 (9件)

■ 決議及び意見書

- 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議
- 受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書
- 道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書
- 私学助成の充実強化を求める意見書

メキシコオリンピックチームの
広島での事前合宿受入市町の決定
～福山市の受入状況～

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた、メキシコオリンピックチームの広島県内での事前合宿の実施について、メキシコシティで現地時間8月28日、メキシコオリンピック委員会から26競技団体の代表者や現地報道関係者に対し、県内10市町で事前合宿を行うことが発表されました。
- 福山市は県内最多の8種目の事前合宿を受け入れることになりました。
早速、福山市は9月5日には競技団体との会議を開催し、10月には準備委員会を発足させるなど、受け入れのための準備に取り掛かっています。

《福山市の状況》

競技名	施設名
1 競泳	ローズアリーナ
2 ダイビング	
3 トライアスロン	
4 スポーツクライミング	福山市新体育館
5 バドミントン	
6 フェンシング	
7 カヌー	芦田川漕艇場
8 ボート	



【8月28日メキシコ市での記者会見の様子】

手城川流域浸水対策会議設置 ～浸水被害の軽減に向けて～

- 福山市の手城川流域において、近年頻発している局地的豪雨による浸水被害を軽減するため、県・福山市・福山市土地改良区の各施設管理者が連携して対策の検討を行う「手城川流域浸水対策会議」を開催することになりました。
- 手城川流域の治水・利水施設の整備状況など、現状について確認するとともに、県・市・土地改良区の各施設管理者の役割に応じ、当面の対策について検討することとしています。
 - ① 治水関連施設の効果的な運用
(ため池の低水位管理・弾力的運用、農業用水の管理・運用 等)
 - ② 市民への情報提供体制
(春日池及び河川・水路の水位、監視カメラ等による防災情報の提供)
- 第1回会議の開催
日時：平成29年8月9日（水）
場所：広島県東部建設事務所 会議室
内容：現状の把握、対策案の提示
- 今後のスケジュール
第2回会議：9月下旬
第3回会議：10月下旬の開催を予定



【市街地の浸水状況（南蔵王町）】



備後圏域連携協議会の要望
～8月25日 湯崎広島県知事へ要望～

- 広島、岡山両県の6市2町でつくる備後圏域連携協議会（会長：枝広福山市長）が、8月25日に圏域活性化のための要望書を湯崎広島県知事に提出しました。
6市：福山市、尾道市、三原市、府中市、笠岡市、井原市
2町：世羅町、神石高原町

- 要望内容は、圏域だけでは解決しにくい、次の5項目となっています。
 - 1 産業・都市基盤インフラの整備
 - ・直轄国道 一般国道2号（福山道路、木原道路）の早期整備に向けた県・市一体となった国への働きかけ
 - ・補助国道 圏域内の一般国道の整備
一般国道182号（坂瀬川地区）、一般国道184号（尾道拡幅）、
一般国道185号（能地バイパス）、一般国道317号（青影バイパス）、
一般国道432号（賀茂バイパス）、一般国道486号（新市府中拡幅）など

 - 2 地域経済を支える人材育成の強化
 - ・ものづくり技術の継承
 - ①造船技術者養成のための学科新設（圏域内の高校等）
 - ②因島技術センターへの運営支援
 - ③府中市の専門職大学（航空技術大学）の誘致への支援

 - 3 広域観光の推進
 - ・広島空港の機能強化による発着便の増便や、周辺道路（木原道路、フライトロード）の整備、軌道系アクセスの検討
 - ・クルーズ船の誘致に伴う港湾施設（福山港、尾道糸崎港）のインフラ整備
 - ・備後圏域の観光資源の魅力向上や、圏域内での周遊促進など広島県東部の観光拠点機能を高める支援
 - ・県施設であるびんご運動公園を機能強化（スタジアム、アリーナの再整備など）し、積極的な大会誘致を推進することで、選手の育成強化や圏域の交流人口の拡大などへの取り組み

 - 4 農林水産業の経営力強化
 - ・ブランド力向上、6次産業化への支援
 - ①かつて出荷量全国1位だったマツタケや全国トップブランド級の神石牛等、圏域の食の魅力向上と新たな販売先の開拓等への支援
 - ②農畜産物・水産物のブランド力向上と新たな販売先の開拓等への支援
 - ・担い手の育成と経営力の強化への支援

5 医療連携の更なる推進

- ・福山・府中圏域への小児救急医療拠点病院の設置と、設置までの輪番制維持のための支援
- ・総合周産期母子医療センターの設置
- ・広島県医師育成奨学金制度の広島大学「ふるさと枠」卒業生の備後圏域内への配置と、同制度の岡山大学「地域枠」の拡充
- ・これらの内容を2017年度（平成29年度）策定の広島県第7次保健医療計画への反映

広島県中小企業・小規模企業振興条例制定 ～私が所属する会派からの議員提案～

- 本県の中小企業・小規模企業は、県内企業の99%以上を占めており、そのうち小規模企業は8割以上を占めています。また、少子高齢化が進み、労働力の確保が困難となる中、国内需要の低迷や海外との競争の激化など厳しさが増大しています。
- 平成26年6月の「小規模企業振興基本法」の制定を受け、全国的に条例化の動きが進展しており、平成29年4月現在、41道府県で条例が制定されている状況となっています。
- 平成29年1月、広島県商工会連合会から、中小企業振興に関する条例制定の要望を受け、私も副会長を務める「商工会地域活性化議員連盟」で議論した結果、条例制定に向けて動くことになり、私が所属する最大会派の「自民議連」から、議員提案で条例を制定していくことになりました。
- 各会派で構成する政策条例検討委員会で1月から条例案の検討を開始し、6月には関係団体からの意見聴取、7月には県民の方からのご意見（パブリックコメント）をお聞きした後、9月定例会で採択されました。
- 今後は、この条例の基本理念にもある中小企業・小規模企業が本県経済の発展に関わる重要な存在であることを踏まえ、様々な支援策を推進します。



【10/2 広島県商工会連合会 熊高会長表敬訪問を受ける】

神辺バイパス（一般国道313号）の整備促進 ～神辺バイパスの工事推進中～

- 神辺町下御領から岡山県境までの約3.8キロ区間を「神辺バイパス」として整備するこの事業は、平成8年の工事開始から着実に整備が進み、平成26年4月までに約2.1キロ区間が供用開始しており、残る未供用区間（約1.7キロ）について整備を行っているところです。
- 「神辺トンネル」については、トンネル本体工事が平成27年12月に工事発注され、平成28年9月より掘削が進められていましたが、平成29年7月に完成しました。
- 平成29年度のバイパス供用を目指し、今後は、トンネル設備工などが施工されるとともに、残る道路改良工事等を進める予定です。



【8月末の工事状況】



出会い・結婚支援

～映画「こいのわ 婚活クルージング」福山でロケ～

- 少子化という危機的な課題を克服するため、結婚を希望する男女の夢を叶えるべく、出会いの場の創出を進めるとともに、県民全体で結婚を応援する機運を醸成しています。
- 未婚化・晩婚化の進行により、晩産化も進行しています。
 - ・ 25歳～39歳の有配偶者率
男性：(H17) 50.9%、(H22) 51.0%、(H27) 49.8%
女性：(H17) 60.4%、(H22) 59.5%、(H27) 59.0%
 - ・ 平均初婚年齢
男性：(H17) 29.3歳、(H27) 30.3歳
女性：(H17) 27.6歳、(H27) 28.9歳県の調査によると、独身者(25歳～39歳)の8割弱に結婚の意思はあるものの、恋人がいない独身者が7割もおり、独身にとどまっている理由は、男女とも「適当な相手にめぐり合わない」が1位となっているようです。
- 県は、出会いの場の創出のためのイベント開催のみならず、交際中のカップルが結婚を考えるきっかけになるような「こいのわプロジェクト」を展開し、県民全体で結婚を応援する施策を実施しています。
- 平成29年11月から、県の取り組みがモデルとなった「こいのわ 婚活クルージング」が広島先行公開、全国で順次公開されます。(オール広島ロケ)



【映画のワンシーン／ロケ地：鞆】